

## 令和7年度第2回（第17回） 大阪市大規模事業リスク管理会議

### 報告

- ・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場建設費

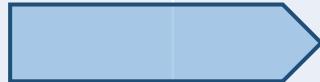
# 進捗状況等について（報告）

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）-

○大阪・関西万博については、2025年4月13日～10月13日の開催期間中に、累計約2,902万人（AD証入場者除き：約2,558万人）の方にご来場いただいた。

○現在、2028年2月末に予定している大阪市への敷地返還に向けて、海外パビリオンや民間パビリオンなど各施設の解体・撤去作業が行われているところ。

## 【万博会場における解体・撤去スケジュール】

年度	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
	 万博開催 4/13～10/13		
海外パビリオン・ 民間パビリオン等 解体・撤去			
ランドスケープ・ 基盤インフラ撤去、 基盤整備	 支障物先行撤去		
大屋根リング 解体・撤去			

## 進捗状況等について（報告）

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）-

## ○会場建設費の執行状況

[公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会臨時理事会公表資料 (2025年12月24日)より抜粋]

2025年11月末時点

(单位：億円)

執行項目	契約済			今後の予定		執行予定額
	金額	主な内容	前回比 (2025年9月末)	小計	主な内容	
大工区	1,269		+ 7			
PW北東工区	356		+ 3			
PW南東工区	293	・大屋根(リゾン)				
PW西工区	332	・バーリオンB、C	+ 1			
GW工区	166	・管理施設、ゲート施設等の整備	+ 1			
静けさの森工区等	34	・メタン対策				
会場附帯施設等整備	64	・附帯整備				
会場施設等維持補修業務	17	(各種サイン・舗装・休憩所等)				
会場基盤撤去	7		+ 2			
主要施設	287					
大催事場	93					
小催事場	50	・各施設整備				
迎賓館	39					
テーマ館	53					
若手建築家施設	52	・サテライトスタジオ、休憩所等(20棟)				
土木工区	110	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、污水管、給水管、熱供給管、電気管路、通信管路		▲ 1	・水道分担金還付 他	10
インフラ設備 (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	247	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備等	+ 3	3	・解体工事変更対応 他	25
交通施設	173	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備		4	・解体工事変更対応 他	17
環境評価、委託関係	61	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務		1	・解体工事コストマネジメント ・環境影響評価業務変更対応 他	6
合計	2,147		+ 10	135		2,22
						予備費※ 13

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

※予備費執行承認済み  
金額は「約62億円」。  
(総計：約2,282億円  
執行予定)  
現時点の予備費残額は、  
「約68億円」の見込。

■2.350億円の執行率： 91.4%

# 進捗状況等について（報告）

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）-

## ○予備費について

博覧会協会は、次のとおり、理事会において追加の予備費執行の可能性について述べているものの、2,282億円（予備費執行承認済みの約62億円を含む）に収まるよう努めることとしている。

予備費：会場建設における台風などの自然災害時における緊急補修対応や、想定以上の物価上昇が生じた際への対応などの予見できないリスクに対応するために計上された費用（130億円）。

### 【2025年6月23日定例理事会（抜粋）】

会場建設費の執行状況を見ると、直前期や会期中における予見外の変動対応として執行案件が複数生じており、今後も生じる可能性があることから引き続きが注視が必要。

#### 【予見できなかった事象への主な執行（今後も生じる可能性有り）】

- ①公式参加国出展形態変更への対応 ※1
- ②ウォータープラザ及びつながりの海の護岸浸食対応 ※1
- ③来場者向け環境整備への対応 ※1
- ④大屋根リングリユース解体費等に係る追加経費（第6号議案）

上記を会場建設費で負担するにあたって、必要額の精査や他事業の執行残も充当しながらできる限り2,282億円に収まるよう努めるものの、追加の予備費執行※2の可能性が生じることから、この点をご了知いただきたい。また、自然災害等予見できない事態への備えが不足しないことを前提とする。

※1 現状2282億円の隙間で対応しているものの、今後の執行状況によって押し出され予備費となる可能性がある

※2 予備費は当初130億円計上していたところ、2024.12に公式参加国出展形態への対応・メタンガス対策に伴い62億円を執行承認済で、現時点の残額は68億円。

### 【2025年10月7日臨時理事会（抜粋）】

「大屋根リングの活用に関する検討会」の議論を踏まえ、

- ①残置に係る保全措置
  - ②更なるリユース需要への対応
- } を実施するもの

当該事由を会場建設費で負担するにあたって、必要額の精査や他事業の執行残も充当しながらできる限り2,282億円に収まるよう努めるものの、追加の予備費執行※の可能性が生じることから、この点をご了知いただきたい。

※ 予備費は当初130億円計上していたところ、2024.12に公式参加国出展形態への対応・メタンガス対策に伴い62億円を執行承認済で、現時点の残額は68億円。